



田村市図書館 おすすめ本

～ 児 童 ～



書 名	「大人も知らない スポーツの実は…」	「正しく疑う」
著 者 名 等	白旗 和也 // 監修 (文響社)	池上 彰 // 監修 (Gakken)
おすすめポイント	レスリング選手はヒゲNGだが、仙人レベルのヒゲならOK。サッカー試合後のユニフォーム交換は予約制。スポーツの常識をひっくり返す70以上の「実は…」が登場! 「知ると楽しくなる」スポーツの話題を集めて紹介する。	いまや誰もが発信者の時代。気を付けないと自分が加害者になることもあります。また、情報の受け取り方にもコツが必要です。情報との向き合い方、発し方を、マンガやイラストでわかりやすく紹介します。
書 名	「手塚マンガで 憲法九条を読む」	ゆるめて解決! 「ゆるスポーツからはじめよう」
著 者 名 等	手塚治虫 // 作 (子どもの未来社)	世界ゆるスポーツ協会 // 監修 (ほるぷ出版)
おすすめポイント	手塚マンガの中からベトナム戦争以降に描かれた、憲法九条に関わる作品を厳選。「紙の砦」「アトム 今昔物語 ベトナムの天使」など、＜生命の尊さ＞が貫かれた珠玉の7篇を収録する。全国「九条の会」小森陽一による解説つき。	だれでも参加できて、勝ったらうれしい負けても楽しい「ゆるスポーツ」とそのつくりにかたを紹介。ゆるスポーツづくりの考え方を生かして、社会にあるガチガチな問題をゆるめて解決する方法も掲載する。
書 名	「やなせたかし物語」	「怪談十二か月」 夏・秋・冬・春
著 者 名 等	やなせスタジオ // 作・絵 (フレーベル館)	福井 蓮 // 著 (汐文社)
おすすめポイント	親との別れ、戦争、弟の死、まんが家としてうまくいかないあせり…。「なんのために生まれてなにをして生きるのか」を問い続けてきた、アンパンマンの作者・やなせたかしの物語。	怖さのなかにも、もの悲しさやせつなさなど季節とリンクした情景を織りなしていく…。「ほおずき」「祭りの夜」「ひまわり」「二百十日」など、現代の怖い話、時代物で構成した怪談を収録する。
書 名	「パラリンピックは世界をかえる ルートヴィヒ・グットマンの物語」	「黄金のしっぽ 1」 ムーミン・コミックス
著 者 名 等	ローリー アレクサンダー // 作 (福音館書店)	トーベ・ヤンソン // 著 (筑摩書房) ラルス・ヤンソン // 著
おすすめポイント	ルートヴィヒは、患者の治療にスポーツを取り入れた。病院で始まった小さな競技会は、患者の生き方をかえ、社会の認識をかえるパラリンピックという大会に成長し…。パラリンピックをうんだ医師の伝記。	ムーミン・コミックス 第1巻。『黄金のしっぽ』、『ムーミンパパの灯台守』を収録。不思議な仲間たちが、ムーミン谷を舞台に繰り広げるユニークであたたかく、ちょっと切ない日常。現代社会への風刺が見え隠れし、意外な一面が楽しめる。
書 名	「ピクサー空想科学読本」	
著 者 名 等	柳田 理科雄 // 作 (講談社)	
おすすめポイント	ヨロコビとカナシミの役割とは? なぜ人間は地球に住めるの? 風船が何個あれば家を浮かせることができる? 「インサイド・ヘッド」「カールじいさんの空飛ぶ家」など、ピクサー作品の不思議を科学的に考察する。	